

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	①地域の一員となり地域に根付くよう日々努力している ②ホーム理念、ユニット目標がある ③ホームでの生活であっても家庭と同じ目線で生活できるようにしている	○	地域行事への参加もありホーム行事の際もお呼びしている
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	①新人オリエンテーション時ホーム理念、ユニット目標の説明、理解をしてもらっている ②援助の場面、場面で反映できるよう指導している	○	ユニット目標は職員と一緒に作っており個人目標も掲げてもらっている
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	①ホーム玄関、各ユニットに掲示している ②入居時、見学時に説明しておりパンフレットにも掲示している	○	広報誌、推進会議時資料へも記載したい
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	①行事時は地域の方も招待し日頃から差し入れ等も多く気をかけて頂いている ②推進会議、消防訓練時参加して頂いている ③地域保育園、小学校との交流をしている ④ボランティアを受け入れる際は個人情報説明をしている ⑤ボランティアの写真掲示には同意を得ている ⑥来年春より実習生の受け入れをする	○	キャラバンメイトメンバーへの参加はないので今後検討して行きたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	①毎年外部評価関連の資料、アンケート内容は職員へ周知している ②結果は回覧しアドバイス事項は一覧にしている ③日頃より介助業務だけではなく経営側の目を持たせ考えてもらっている	○	入居時の契約書、重要事説明書も管理者だけではなく職員へも内容を把握してもらっている
6	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	①会議時の報告内容としている ②推進会議は「透明性」を意識している ③地域、家族側の意見にも取り組んでいる	○	昨年度より「ひやり・はっと委員会」を設立し毎回委員よりの報告を義務付けている
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	①推進会議時参加をお願いしている ②会議終了後は会議録を提出している ③不明事項はすぐ指導を仰ぐようにしている	○	推進会議資料、月1回の入居者状況を報告している
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	①必要性のある方には制度を説明しているが現在は活用者はいない	○	研修に参加し意識を高めて行きたい
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	①身体虐待のみではなく「施錠」「プライバシー」も虐待になることを説明している ②家族へも誤解のないよう多少の傷、内出血であつても謝罪と説明をしている	○	虐待マニュアルの設置（内容・対応の流れ・発見チェックリスト）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
10	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	①契約時はゆっくり納得のいく説明をしている ②一方的な説明にならないようにしている ③契約内容の変更があった場合は都度同意を得ている ④退去時は本人、家族の不安を煽らないようフォローしている	○	退去後も年賀状、誕生日の訪問、ホーム行事への招待をしフォローアップしている
11	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	①入居時苦情に関する説明をしている ②苦情、意見があった場合、管理者と情報交換後文面にし回覧形式をとり全職員が周知できるようにしている ③プライバシーへも配慮し苦情、意見を出しやすい雰囲気づくりをしている	○	苦情は職員の学びの一環として受けたい
12	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	①面会時の報告、遠方家族に対しては手紙で報告 ②小遣い帳にサインをさせていただいている、領収書はファイリングし管理している	○	キーパーソン以外の家族に対しても広報誌、近況報告手紙を送付している
13	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	①受け受け窓口を玄関に資料として明記している ②面会時呼びかけをし意見を出しやすい環境にしている	○	現在苦情は出ていないが組織的に反映可能
14	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	①組織図形式で経営者、管理者、スタッフと意見が反映される仕組みとなっている ②定期的に職員会議を設けている	○	運営者の定期的な訪問があり意見を出せるシステムとなっている
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	①緊急連絡網で緊急時の知らせは可能となっている ②急な休みの場合は当日16時までの電話連絡を義務付けしスムーズな連絡体制を作っている	○	地震緊急体制も整備している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	①新職員に対しては新人オリエンテーションを実施している ②入居者全員に紹介している	○	退職後もOBとして関わりをもってもらっている
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
17 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	①入社時にオリエンテーションを実施し定期的な評価を設け適応を本人と面接し参考になっている ②研修計画、研修案内で随時研修に参加させている、終了後の復命書、報告会を実施している	○	報告会後の取り入れた事例を実現させたい
18 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	①「青森の認知症を考える会」のメンバーとなり他ホームとの交流、連携を図っている ②地域包括主催の学習会にも参加しアドバイスを頂いている	○	他ホームとの交流時は職員をなるべく参加させ励みにしている（交流・気づきを図る）
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	①休憩場所、時間の確保が出来ている ②勤務以外に交流を持ち情報交換、ストレス発散の場を作っている	○	介護以外の見聞知識を広めることの出来る交流を図りたい
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	①有給休暇をとり易い環境を作っている ②定期的な健康診断、予防接種を実施している ③介護福祉士資格を目指させている	○	緊急時には各ユニットの応援を可能にしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	①プライバシー、座る位置に配慮し話を聞いている ②傾聴姿勢でお聞きしている ③管理者不在時は連絡の必要性を聞き対処している	○	急ぎの場合は他ホームへの申し込み、見学も進め抱え込みをしないようにしている
22	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	①待機、緊急性を見極めている ②介護サービスの対象になるか判断している ③空き発生時、混乱事例時地域包括への相談をしている	○	「傾聴」する姿勢で聞き名刺、パンフレットをお渡ししいつでも相談できるようにしている
23	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	①入居前後の家族との連携を図り「自宅」と変わらない環境づくりをしている ②入居1週間は状態報告で連絡を入れている（報告の有無は事前に聞く）	○	職員へは入居者の個々を知る事を義務付けしている
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
24	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	①担当職員をつけ個々関わりを重視している ②生活歴、家族情報で主役になれる場を作っている  体調、意思を重視し無理強いさせない	○	買い物、受診になるべく担当者をつけ信頼関係を持てるようにしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	①面会時には家族との情報を密に取り家族の特徴、生活スタイルも把握している ②家族の希望を先決にしている	○	家族からの話を引き出せるような信頼関係を気付くようにしている
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	①定期的に広報誌の発送、年賀状へは本人の顔写真と文面を入れ送っている ②行事への参加を促している ③家族写真をたくさん飾り「一人ではない」環境を作っている	○	入居時は家族写真を持参していただいている
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	①墓参り、お寺参り、温泉へ同行している ②年賀状を一緒に書き近況報告している	○	職員は家族として一緒に考え係るようにしている
28	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	①食席、居室の見直しをしあずましい暮らしを考えている ②役割作りをし、他者の前で労いお礼の言葉を掛けるようにしている	○	居室変更時は家族へ相談し了解を得ている（本人へも）
29	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	①定期的な訪問をしている ②次の施設へ移るまで先方ケアワーカーと連絡を密にし不安要素を煽らないようにしている	○	開設間もない為退去者も数名だがいつまでも係りを持っていたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	①趣味、好み反映 ②嗜好重視 ③話の環境	○ たまにいらっしゃる(キーパーソン以外)家族の情報も得るようにしている
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	①入居時本人・家族からの情報を元に尊厳を傷つけないケア ②面会時の家族情報を密にし職員間の情報の場	○ 個々の「私の歴史」を作成したい
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	①個々の時間を尊重 ②排泄・睡眠パターンチェック	○ 睡眠チェック表を元に受診時Drとの連携を図っている方もいる
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	①担当職員のモニタリング、全員周知のサービス担当会議を儲け意見が反映されるようにしている ②本人、家族の了解を得要望・希望をお聞きしている	○ 1ヶ月間隔の計画書の見直しを実践したい
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	①3ヶ月から6ヶ月スタンにしており変化時は見直しをかけている ②担当をメインに評価している(係り、目線、気付きの重視)	○ アセスメントフォーマットを見直したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	①ケース記入方法を周知させている (様式、事実のみ記載、事例を元にしての記載のしかた等) ②プラン実践時の記載、申し送り事項に関する記載、次の課題になる記載等	○	温度表を見直し個々の生活スタイルの把握を周知できるようにしている
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	①医療連携を図り月2回の健康チェックを実施 緊急時の連絡とアドバイスの連絡網の整備が出来る ②ホームDrの往診と緊急時の訪問、依頼の実施	○	短期利用の受け入れもしたい
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	①地域交番との連携を図っている ②地域消防分団の協力の元、非難訓練（地域住民の参加）を実施している ③ボランティアの訪問、慰問の実施	○	教育ボランティアを受け入れ幅を広げたい
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	①入居後も担当ケアマネとの連携を図っている ②毎月理美容サービスを受けることが出来る	○	GH入居中どのようなサービスが受けられるか思案したい
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	①適切なホーム利用、病院、施設サービスが受けられるよう見直しを行っている ②地域包括のアドバイスをいただける環境にある	○	地域包括は相談しやすい環境にあり混乱事例などのアドバイスを受けたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	緊急時の受診方法、普段受診していない科の受診方法を入居時に決めしている
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	つくしが丘病院での「勉強会」へ参加させていた
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	訪問日以外でいあっても「その後」を連絡し合っている
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	入院中も小まめに病院へ出向き情報交換している
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	まだ事例はないがハード面でも対応は可能 職員のレベルアップも図りたい
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	「出来ないこと」は家族、職員と共に考えて行きたい 本人の意思を尊重したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	ダメージを受けないようフォローアップしている (本人、家族とも)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	ボランティア受け入れ時もホームで知りえた情報は郊外しないよう説明している
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	本人の嗜好を情報交換し理解している
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	常時人員確保が可能でなければ職員のゆとりも生まれない為職員の定着も図りたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	職員へも外部に出るときの身だしなみを身につけてもらっている (衣類、化粧、言動)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	急な食事が必要であっても対応が可能となっている
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	栄養士とのセッションが出来ており希望を取り入れてもらっている カロリーセーブの方であっても対応が可能
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	居室へ排泄具を置く時は視界に入らないようプライバシーの配慮をしている 処分時は新聞紙に包み対応している
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	温泉へ一緒に出かけている
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	布団、枕は持参できるようになっている
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	個人的に文化祭、買い物を楽しめる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	①金銭管理はホーム管理となっているが買い物時は社会性の継続を図る為支払いをして頂いている ②買い物時は使える金額を一緒に考え金銭感覚を持ち続けていただいている	○	金銭管理は1日2回のチェックを行っている 家族の確認後サインを頂いている
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	①年間計画を立て全体の外出、行事参加をして頂いている ②個人、気の合う仲間との外出支援を行っている	○	外出に参加されない時はホーム待機者を置き安心していただいている
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	①外出場所は入居者さんからの希望を取り入れ検討している	○	来年の花見は家族参加を考えている
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	①手紙、電話は随時可能となっている ②年賀状は近況報告を要れ出している	○	メールでの近況報告をしたい
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	①面会は24時間可能となっている 但し施錠時間が設けられている ②近況報告、前回お会いした時との違い、変わった様子はないかお聞きしている	○	家族の宿泊事例はないが食事の提供は可能 ぜひ24時間通してホームでの生活を見て頂きたいと考えている
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	①身体拘束必要時の同意書を完備している ②鍵のみではなく座らせきり、無意味な施錠も拘束となることを周知させている	○	入居時の説明時には施錠、拘束に関して説明をしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	①玄関の施錠時間を21:00から6:00までしそれ以外は人員が確保できない場合のみ施錠している ②トイレ、浴室、脱衣所は施錠できるが居室には設置していない ③帰宅要求時は散歩等で気持ちを紛らわせるようにしている	○	目配りが必要な方に対しては鈴で対応している
64 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	①日中3、4名の人員を確保している ②全体を見渡せ書き物が出来る工夫がされている	○	人的配置で動くよう指導している 例：ゴミだし時ホール人員を確認し外に出る
65 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	①洗剤等は入居者さんの手の届かない場所に棚を設置している ②包丁は夜間施錠棚に収め施錠している ③刃物本数を明確にしている	○	はさみ、爪切りは渡した職員が責任を持って返却していただいている
66 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	①「ひやり・はっと委員会」を作り月1回集計を出し推進会議時の報告としている ②事故発生時は各ユニットへ文章で報告し内容を明確にしている	○	ひやり・ハットをはじめ1年になる為バージョンアップを考えている
67 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	①入社時「普通救急救命」への参加を義務付けしている ②緊急時連絡網を作成している	○	随時マニュアル整備をしている
68 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	①年2回の避難訓練を実施している ②地域の方の参加もあり緊急時の体制を整えている	○	災害時の家族連絡、協力、受け入れの有無を整備する予定

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69 ○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	①家族と連絡を密にし協力を得ている ②準備品発生時は理解を得準備、購入している	○	問題発生時も随時話し合いを儲けている
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
70 ○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	①アレルギーの有無を把握している ②既往歴、持病を個人ケースで確認できるようにしている ③ケース記載時は連動式で記載し全員が把握できるようにしている ④変化時家族連絡も義務付けしている	○	温度表、ケースの整備をし情報共有できるようにしている
71 ○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	①服薬、点眼薬箱を整理している ②薬カードを個々に準備し内容、副作用を確認できるようにしている ③薬辞典を準備している ④取引先の調剤のアドバイスが受けられる(24h)	○	薬変更時は効力、状態を細かく記載し受診時に相談できるようにしている
72 ○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	①便秘対応のメニューになっている(乳製品、繊維食物) ②下剤処方されている方は調整し状態を見ている ③起床時の冷水対応をしている	○	個々に便秘対策飲み物を準備されている
73 ○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	①口腔ケア介助者の対応を実践している ②歯科往診の可能な為Drとの相談も可能 ③個々にあった歯ブラシ、歯磨きの購入をしている	○	歯科衛生士による「ケア方法」の勉強会を考えている
74 ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	①管理栄養士作成のメニューとなっている ②1日のカロリーが決められている ③水分量のチェックをしている ④栄養士との話し合いを設けている	○	主食の分量を量り対応している方もいらっしゃる

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	①感染マニュアルを設置している ②市からの情報を各ユニットへ提供し保存版としている ③玄関、洗面所に手指消毒を設置している	○	インフルエンザ等の流行時は玄関に明記し情報を周知させたい 職員へは手洗い、うがいが一番の予防であることを周知させている
76 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	①衛生管理表を作成している ②週1回台所徹底掃除をしている ③食事準備時エプロン、三角巾を装着している	○	入居者さんの個人購入品を預かり衛生管理している
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり			
77 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	①玄関に入りやすい雰囲気のパレットを設置している ②近隣と違和感がない外壁となっている	○	花を飾ったり、野菜を植えたりし親しみやすさを出している
78 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	①季節毎の絵を飾っている ②ハード面の不備時早急な対応が出来る環境となっている ③職員の履物は音が出ないものを準備してもらっている	○	各居室表札に季節毎の飾りを付けている
79 ○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	①リビングで団欒できるようになっている ②喫煙場所があり時間を決め使用していただいている	○	食事席も気の合う方が同席できるよう工夫している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	①自宅より使っていたものを持参して頂き馴染 みのものに囲まれ生活できる工夫をしている ②居室環境を担当者と一緒に考えている	○	家族写真をたくさん飾るようにしている
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	①当ホームはSHS工法により空気、換気、室温、 温度管理を行っており外部、季節を問わず快適な 暮らしが出来るシステムとなっている	○	不備時は早急な対応が可能となっている
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	①各所に手すりを設置している ②車椅子生活も可能となっている ③居室、ユニット変更をしより安全な生活が出来 るよう工夫している	○	不備時は早急な対応が可能となっている
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	①居室に混乱のある方はランドマークを付け分か りやすくしている ②フルネームの表札となっている	○	入居時表札の説明をしフルネームに対しての了解 を得ている
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動でき るように活かしている	①花、野菜を植え草取り、水まき、収穫を一 緒に楽しんでいる ②玄関に縁台を設置している	○	テーブルでも簡単な野菜を植え楽しんでいる

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
95	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

①推進会議を通じ地域の方の協力体制に大変力強く思っています。色々気遣っていただき差し入れを頂いたり声を掛けてくださり益々地域との連携、地域の一員として運営して行きたいです。

②連携箇所からの入居者様紹介もたくさんあり日々職員の地道な仕事ぶりが評価されていることと思います。今後も前向きにスタッフ教育に力を入れていきたいです。